

# 境港市図書館協議会 会議録

平成 29 年 11 月 30 日

境港市図書館協議会（平成 29 年 11 月 30 日協議会 会議録）

召集年月日 平成 29 年 11 月 30 日 15 時 30 分  
召集場所 境港市中央公民館  
開 会 15 時 30 分  
出席委員 足立 茂美 甲斐 清明 嘉賀 収司 門脇 規矩子 小澤 敏正  
畠山 陽子 濱田 照美 松本 信子 山本 美千枝  
説明のために出席した者  
教育長 松本 敏浩  
生涯学習課長 黒崎 享  
市民図書館長 松本 修一  
生涯学習係長 濱田 潤  
説明以外の出席者 なし  
傍 聴 者 なし  
会 議 書 記 濱田 潤  
報 告 事 項 ・平成 29 年度事業等について  
意見交換 ・今後の図書館について  
そ の 他  
閉 会 17 時 15 分

(15:30 開会)

- 生涯学習課長 <開会>  
前会長 <挨拶>  
生涯学習課長 <会長・副会長の選出>  
「境港市図書館施行規則」第7条第2項に「会長及び副会長は委員の互選とする。」とあります選出については、いかがいたしましょうか。  
委員 会長に山本美千枝さん、副会長さんに足立茂美さんを。  
生涯学習課長 会長に山本美千枝さん、副会長さんに足立茂美さんをとりましたがいかがでしょうか。  
委員 異議なし。  
生学習課長 それでは、会長に山本美千枝さん、副会長さんに足立茂美さんをお願いしたいと思います。  
生涯学習課 <報告（平成29年度事業等について）>  
委員 休館日が少なくなり、司書の仕事が増えたと思いますが、司書の数が増やしてあるのでしょうか。  
生涯学習課 平成27年度から開館時間を延長しておりますが、その年までは館長1名・司書6名でしたが、その年から臨時職員を1名増やしまして、館長1名・司書6名・臨時職員1名という体制で、平成27年度・28年度を行いました。今年度からは、臨時職員も司書になり、館長1名・司書7名という体制で行っています。  
生涯学習課 <説明（今後の図書館について）>  
委員 中高生の学習の場の提供ということで、P7の図には机や椅子があって、これは閲覧場所であって、学習してはいけないのでしょうか。  
生涯学習課 基本的には、そちらは本を閲覧していただく場所で、学習のスペースとしては、1階の学習室か2階の会議室を考えています。  
委員 調べものとかはできるということですか。  
生涯学習課 そうです。  
会長 市民の要望としては学習室だけではなく、もっと気軽に自分たちで色々おしゃべりをしたりしながら、例えば文化祭の準備やバンド練習とかできるようなリハーサル室、そういったところも複合施設の中にほしいと要望がありました。  
2階のカフェや中会議室の周りが広くとってありますので、そういうところにも椅子を並べたり、ロビーからホワイエまでが吹き抜けになっていますが、そういうところにも長い机を渡してもらって、中高生たちが椅子に座って勉強したり、コンセントもたくさんあってパソコンで勉強したり、

学習室はお話しができませんが、こういったところに気軽に集まって小聲でも色々相談しながら、図書の資料を使って気軽に集える場所ができるというというのが市民の希望です。そこらあたりには中高生が気軽に読める進路とか仕事とか就職に関する資料が並べられたらいいのかわからないですが、何とか未来を担う市民をここで育てて、僕たちは良い図書館で色々な勉強や交流ができたなと大きくなってから帰りたいなという子ども達を育てられるといいのになというのが市民の願いです。

委員

基本構想・基本設計の委員ですが、新しい図書館というのは皆が集える広場・図書館。図書の貸し出しだけではなく、集えて、ここが自分の居場所だと思えるような図書館であってほしいなと色々意見をかせていただきました。先ほど会長さんがおっしゃったような 2 階のところをリハーサル室と分けて、高校生が使える交流できる。カフェもできますし、中会議室の使い方によっては、おもしろいことができるんじゃないかなと思います。私も意見を出させていただきましたが 2 階のホワイエから下も見下ろせるところに小さなカウンターで椅子を置けば、インターネットでも自分で色々なことができる。そういった意見を出しました。それが実現できるかどうかこれからの私達の支援かなと思います。

委員

吹き抜けとお話しがりましたが、そういった形で 2 階と吹き抜けになっている。声がもれることがあります、静かなスペースと区別ができているんですね。

会長

学習室は喋れませんが、2 階だったらカフェもありますし、色々な賑わいがありいいかなと思います。

学校図書館の作業スペースは空調のところにあります。

生涯学習課長

事務室兼作業スペースで学校図書館関係の事務も行うこととしております。

委員

今の分館 1 階の機能はどうなりますか。

委員

ボランティア室、書庫スペースの隣にあります、読み聞かせボランティアの控室を設け、読み聞かせコーナーで読み聞かせをすることとなっています。

委員

新しい図書交流広場の開架スペースの広さ、今はすごく狭いですが、今と比較してどうですか。

会長

今が本館・分館合わせて 1,300 m<sup>2</sup>ありますが、今度が 1,600 m<sup>2</sup>になります。

教育長

今あるものが、分館の 3 階まで足した数が 1,300 m<sup>2</sup>で、本館は 550 m<sup>2</sup>です。上の部屋をあわせて 550 m<sup>2</sup>ですから、広さとしては全体で 3 倍ということになります。ただ、開架スペースについては、セッティング・ど

んな机の置き方をすることによって変わってきますので、お知恵をお借りしながらセッティングをしていきたいと考えています。

生涯学習課長 車椅子が相互に行けるというのが理想ですが、そこまで広げるとなかなか書架が収まるのかというのがあります。米子市さんは、車椅子1台と1人です。最低、その広さは確保したいと考えています。理想は、車椅子2台相互かなと思います。10万冊を納めてみて、どのスペースだったらどうなるか色々シュミレーションをしないといけないかなと考えています。

委員 少なくとも今の開架スペースよりは、新しい開架スペースは随分広くなるということですね。

生涯学習課長 広くなります。

会長 人ではなくて、カート。たくさん本を借りる時の本のカートがありますよね。カートを置いていただいて、車椅子とカートが通れるようなスペースを確保していただきたい。

生涯学習課長 実施設計の中で検討させていただきます。色々なご意見を伺い、コンサルにぶつけたいと思います。

今週の火曜日に実施設計の交付申請のために防衛に行きました。12月には契約できると思います。そこからスタートとなります。2カ年です。今年度と来年度。3月の初めぐらいまでかけて実施設計を行う予定としていますので、その間に色々のご意見を伺い、最終的にどこに書架を置かなど様々なことが決まります。決まる段階では、皆様に色々のご意見を伺い、最終的な配置等決めたいと考えています。

平成31年3月8日までが実施設計の工期と考えています。

会長 図書館協議会もこれまでより少し早めて皆に意見を言っていただく。

生涯学習課長 そうですね。どのタイミングまでに意見をいただくべきか逆算して、会を開くことはできます。実際の工事でも平成31年度から行いますが、4月からすぐに行えるわけではありません。防衛から内示がきます。内示を経て、交付申請を行い、交付決定を受けた後に入札を行い、契約となります。平成31年度の7月か8月くらいから着工になるかと思います。そこから、最低22カ月がかかると言われています。22カ月かかるとなると、平成33年の6月か7月くらい。単純に22カ月を足しますと、それぐらいになりまして、プラス施設ができましたらすぐにオープンとはなりません。ある程度運営する期間が最低半年はいるんじゃないかと思っています。安来市さんが、ホール等を新しく建てて9月にオープンされましたが、半年くらいはオープンまでに期間を取った方が良く伺っています。そういった期間を取ったのちに開館となるかと思っています。そういうスケジュール感で考えています。ただし、防衛の補助を

受ける事業ですので、防衛も3ヵ年で国に要望していただいておりますが、事業費が44億ということで、その約75%位が補助金となりますと防衛の予算もかなりとなりますので、必ず3年でつくかと確約はできない状況ですので、皆さんに説明する際には、最短で3年ですが防衛の補助の関係がありますので4年になることもありますと話をさせていただいてます。ある程度、来年度くらいになりますと3年でいけるかどうか分かるんじゃないかなと思っています。今はそういう状況で推移しているというところです。

会長 オープンが早くて平成34年ですか。

生涯学習課長 そうですね。さっき言いました単純な22か月プラス半年を逆算しますと平成34年の1月1日ぐらいが最短になります。工事がずれますと平成34年4月1日。そういったこともあるのかなと思っています。今言いましたのが最短のパターンなのかなと思います。

委員 我々図書館協議会が意見を出せるのが、来年の3月までですか。

生涯学習課長 平成31年の3月になりますが、それは期限なので、実際は平成30年の12月とか、その辺りは、実際に契約しないと分かりませんが、どのくらいまで設計に反映できるか契約が決まりましたらすぐに話をさせてもらい、いつぐらいまでというのはお示しできると思います。

委員 図書館協議会は年に1回ですか。

生涯学習課長 基本的に年に1回です。会を開かなくても意見を聞くことはできますので。

委員 委員の意思をまとめる機会があればいいと思います。

生涯学習課長 大事な意見を決める場合は、回数を増やすことはできます。

委員 建物内部の設計のみではなく、どう運営を考えていくのかを図書館協議会として、意見を出したいと私は思っています。

生涯学習課長 運営も別の委員会を立ち上げる予定としています。

会長 平成30年の末までが実施設計。ちょうど後1年ですか。

生涯学習課長 ぐらいと考えていただいた方が良くと思います。期限がいつかというのが来月には分かると思います。

委員 2点お願いがあります。1つは、図書館の交流センターということで、内装というか、雰囲気といいますか。当然、お考えだと思いますが、その点で1つ。実は、本日小学校に米子市の美術館から絵を貸してくださいとありました。渡町におられた岩崎浩二さんが描かれた絵が飾ってありました。実は知らなかったのですが、もう少し子ども達にそういった絵の案内をしとけば良かったなと思いました。これから宣伝していこうかなと思っています。小灘さんや庄司さんの絵もあります。雰囲気と

か、企画展示をされるとありますが、それはそれでいいと思いますが、美術に触れる場があったらいいなと思いましたので、それが 1 つです。もう 1 点は、駐車場・駐輪場です。どうなのかなと思いました。

会長

境港市の美術展という機会は多分企画展はできるかと思いますが、そういうのは海とくらしの史料館でできるのかもしれませんが、常設は色々な壁面を利用して、2 階のロビーとかでできるかと思います。そういう美術展示も運営の中に入れて検討していくかと思います。

生涯学習課長

美術展示は常設もあると思います。例えば、綾木いづみさん。この綾木いづみさんの作品を鳥取市の方から市に寄付をいただきました。今は、文化ホールに飾っています。ご本人の希望は新しいセンターにと言われているので、新しい施設ができましたら、飾らないといけないなと思っています。また、先日小灘さんが有名な会員になりました。境港市出身の方の作品を常設にして、市民の目に触れる機会を増やすのは必要だと思います。駐輪場は 15 台と少ないですが、駐輪場をたくさん整備するのは難しいと思います。施設ができれば、おそらく自転車を置けるスペースが生まれてくると思います。小中学生が自転車でくるイベントがある場合は、そういったスペースを利用して頂けたらと思います。駐車場は、現状より 50 台程度増える計画となっています。800 席で 800 台分の駐車場はありません。その場合は、職員が使用しています臨時駐車場を使っていただくことになると思います。後は、はまループバスをご利用いただくことも必要かと思います。

委員

色々なイベントがありますと皆さん車で来られます。学校もそうですが。駐車場の問題はかなり大きな問題です。

生涯学習課長

今でも、土日のイベントは職員駐車場をご利用いただいています。平日の場合も、職員駐車場を開けてご利用いただいています。新しい施設ができてそういう対応になると思います。一般的には、収容人数の 2 割から 3 割くらいの駐車場の台数が必用と言われています。ただし、それはある程度公共交通機関が発達している米子とか JR の駅が近くにある場合になります。本市の場合は、それがそのまま当てはまるかと言いましたら、そうはいかないところはありますが、先ほど言いました対応をしたいと考えています。駐車場問題につきましては、基本構想・基本計画の段階から多くの意見をいただいています。今お話ししましたようにお答えしています。約 50 台増えるのに加えまして、職員駐車場等を利用していただくことになると思います。

会長

居心地のいい図書館になればなるほど、市民が平日にも集まると思いますので、もしもの時の対策は考えておかなければと思います。

- 生涯学習課長 市民会館ホールにありました備前焼はどこにありますか。
- 生涯学習課長 10月に藤原さんのお孫さん監修で、壁につけてありましたのを全て取りました。今はまだ市民会館に置いていますが、考えていますのは境小学校の旧給食室に保管して、新しい施設につける計画としています。ただ、藤原さんとも新しいホールの高さが3.5mしかありませんので、今までのものをそのままの大きさでつけるよりは、少し小さくして等設置の段階では考える必要があるかなと話をさせていただいています。ただ、今みたいにホールの正面につけるといことは、話ができています
- 教育長 作品そのものが交流ということ、多くの人に見ていただくことがテーマになっていますので、今度新しくできる交流センターにマッチしています。ですから、是非、次の施設にも展示したい。ただ、ダメージを受けていることもありまして、慎重に取り外し工事もしていただいていますし、これからも慎重にやらないとすぐに壊れてしまうということもありますので神経を使う部分かなと思っています。
- 会長 そういう色々な文化財を大切に交流センターになればいいと思います。
- 委員 今の司書の雇用の形態と言いますか、身分と言いますか、どういう形でされていますか。
- 生涯学習課長 嘱託職員で週30時間です。
- 委員 以前は、期限が10年だったと思いますが。
- 生涯学習課長 今は5年になっています。5年になっていますが、65歳までです。平成16年4月1日に嘱託制度が改正になった時に10年ということでスタートして、それだとなかなか新陳代謝が進まないと話もあった中で、平成25年度くらいから5年になりました。最長5年でただし、試験を受けて継続ができる形でさせていただいています。
- 委員 意見ですが、私が図書館に関係していた時に色々調べてみましたが、大体3万人から5万人規模の市町村で公立の図書館があり、市内・町内の正職員がいない図書館はほとんどない。私も以前、定例教育委員会に出させていただいた時に、意見をだせという会で、意向を書いたら担当の方から出せないと没にされました。その時に大変情けない思いをしました。鳥取県は前片山知事の英断で県立学校には全て正職員の県職員司書を置かれた。鳥取県ができるのに、もっと裕福な境港市ができないはずはない1人位はと私は思います。市の行政や雇用の問題ですから難しいとは思いますが、松本教育長に知恵を絞っていただいて、新しくできる時に何らかの形で、それが図書館のずっと先の財産にもなるようなそういう人事を支援していただいて名教育長という名を是非残していただ

きたい。よろしく申し上げます。

教育長                    たくさんの方にそういった応援をしていただいております、議会の方でも議員の方から正規の職員を配置すべきであると意見をいただいています。長い歴史の中で境港市はそういった職員の配置ができなかった。そういった意識も正直低かったという風に自分は考えています。ただ、今、図書館が求められるニーズ・機能は非常に広くまた深く、以前とは随分変わっているなど感じていますので、私だけではなくこのスタッフがどれだけ戦っていけるかになると思います。ちょこちょこジャブを投げかけたりはしながら、なんとかそういった形が取れるようにしていきたいと考えています。

委員                        質問の回答の中で、65歳が退職とありましたが。

生涯学習課長            以前は60歳でしたが。今は65歳になっています。

委員                        市の職員の方も60歳では。

生涯学習課長            市の職員はまだ60歳のままです。ただ市の職員は、再任用制度がありまして、再任用されている方もおられます。本人が希望すれば。

委員                        初めから65歳という規定はありましたか。

生涯学習課長            最初は嘱託職員は60歳でしたが、何年か前から65歳のはずです。年金の関係だとは思いますが。65歳まで定年をしなければならないというのは、企業もそういう流れになっています。公務員はまだなっってなく再任用制度でやっていますが、公務員もそういった流れになるという報道は以前されていたと思います。公務員の再任用制度は、60歳で一旦退職して、再任用で再用されると月給が18万円とか、それぐらいの金額だったと思います。

委員                        再任用の年限は2年ですか。

生涯学習課長            2年くらいだったと思います。

委員                        学校は5年です。2019年から年次的に公務員は退職が延びていきます。

教育長                    これをするものの責任として、国の年金制度が変わってきていますので、雇用者に対して生活が維持できない雇用をするということは無責任な雇用になりますので、そのところは当然延長しながら制度を変えていかなければならないという風に思います。

会長                        正規採用は、本当に図書館を運営していくうえで、一番大切な根幹の部分になると思いますので、教育長さん初め生涯学習課の皆さん、絶対に頑張ってください、正規採用をお願いします。

教育長                    図書館に対する私個人の思いとしまして、いい図書館をつくるのもそうですが、1人当たりの図書館で借りる本の冊数です。本市が、3.2から3.4くらいで鳥取県でブービー賞くらいです。日吉津村が新しい図書館を

つくって、この前お聞きしたら1人が14冊。鳥取県でナンバーワンです。そういったことを市民の方はあまりご存じありません。本を買って読んでおられると思いますが、図書館で借りる本はブービー賞です。この数を何とかあげていきたいと考えております。全国的に1人が10冊というレベルに達したら頑張っている図書館との評価になります。一気に10冊はたぶん無理だと思います。鳥取県では、日吉津村と三朝町です。その後頑張っているのが、倉吉市。北栄町も頑張っておられます。一気にそこまではいかないまでも、それでも6冊とか7冊とか今の倍ぐらいの本が借りられるようになれば、いいな。そういった図書館をつくらないといけないな。そういった運営をしないといけないなと自分は願っています。

会長

今までの貸し出しが少ないというのは、本が少ない、暗いとか環境が影響していると思いますので、新しくなれば、米子市でも日吉津村でも新しくなっている環境で色んな講演会をしたりとか、図書館のソフト面も変われば絶対に市民は過ごせると思いますので、冊数のことは私はあまり心配していません。市民を引き付けるよう運営環境をする方が先決だと思います。

委員

先日の読書まつりは何人くらい来られましたか。

生涯学習課

約350人です。

委員

この約350人が、多いのか少ないのか。この人数を増やしていく。新しい図書館ができた時に一つの盛り上がりにつながっていくのかなと思います。現在作っているものをどういう風につなげていくのか。期待感を持たせる。読書まつりをどういう風につなげていくのか。

生涯学習課

色んなイベントをしまして、例えば読みメンでありますとか、講演につきましてもその時々にあった講演をさせていただいたり、数年前に比べまして、伸びている報告はさせていただいています。会長さんを中心に色んなことをさせていただいてまして、引き続き伸ばせて行けたらと考えています。

教育長

図書館につきまして、校長先生から初めに美術の問題がありましたし、今イベントの問題も提案していただきました。図書館は本を借りるところというイメージがありますが、図書館はやはり色んな情報をキャッチするところです。そういったイベントと言いますか、例えば、図書館が企画した子育て講演会とか、健康に関する講演会とか、あるいは文学・歴史の講演会。そういった情報発信の場でもあります。ですから、2階に会議室がありますので、そういったものをうまく利用しながら図書館が企画をしても、実際にやられるのは外部の団体を招けばいいわけで。そ

ういったものを定期的にやっていくとか。あるいは、相談会。なかなか市役所の色んなところに相談に行くのは難しいわけで、図書館であればすーと行けますので、そういったものを企画していくというような、こういった図書館に変わっていかなければいけないと思います。今回の読書まつりは、私の感覚から言いますと子どもさんの数は少なかったと思っています。これは土曜日に開催され、保育園は園に行っていますので、なかなか参加ができない。その辺りも、日にちを決めるにあたりましては考えていかなければいけないかなと自分としては反省しています。

委員

境港も高齢化社会となっています。今私どもは車で移動ができますが、車の運転が出来ない方にとって、本市は交通の便が非常に悪いです。特に渡とか外江とか。皆さんが言われるのが、夜にイベントあり行きたいと思ってもなかなか出られない。はまループバスが大体 7 時位で終わります。そうしますと、そこから先の足がない。だから、この新しい施設も文化ホールの位置にあれば、わりあい皆が自転車でも行ける距離なんだけどねというような話が随分出ました。今後、色んなイベントに、沢山の人に参加してほしい。それから、高齢の方たちが仕事が終わった後に、余暇を過ごす。そういう場所として考えるのであれば、交通の便が非常に大事だと思います。私が車に乗れるようになったのが、40 過ぎてでしたから、自転車で行ける距離と言いますと夜はほとんど出られない。そういうことも今後踏まえて考えていかねばならないと思います。

教育長

ありがとうございます。図書館の開館時間も大事な問題で、たくさん意見をいただいているのが今 6 時 30 分までの開館ですが、働いている者は行けない。仕事が終わってから図書館に向かおうと思ったら閉館時間。そういった意見をいただいていますので、図書館の開館を何時までやるのか、これも皆さんのご意見で決めていかないといけないと思います。そこで、バスが止まっては困りますので、それも戦っていくんではないかと思います。

会長

読書まつりの参加にしても、中高生が参加できません。ちょうど、試験の時にいつもなされてしまうということで、小学校の連合作品展との兼ね合いでいつも連合作品展が開催している時の週末にしよう縛りがあり、中高生が参加できないんです。しかし、そろそろ大事な中高生がもっと本との関わりのきっかけとなるようなおまつりに参加できるような時期に開催してもいいのではないかなと近年思っていますので、新しい図書館ということで、みんなのお知恵を拝借しながらきてたらいいなと思います。

教育長

来年度は、市民会館は使えませんので学校の展示とは離れてしまいま

す。図書館連絡協議会で、自由に日にちを設定することはできると思いますが、協議していただければと思います。

会長

会場は文化ホールになりますか。

生涯学習課長

事務局で考えていますのは、公民館。上道公民館さんがいいと言っていますので。文化ホールは、講演会をするには大きすぎますし、部屋が沢山あるのは公民館かなと思っています。事務局では、公民館を考えていますが、図書館連絡協議会の中で皆さんの意見を色々聞いて最終的には決めたいと考えています。時期についてもそうです。

委員

中高生が企画から参加していただければ。子ども達が参加することで町に愛着が生まれ、町に帰って来ると思います。

教育長

11月は行事が多い時期です。開催する時期も考えるべきだと思います。何かイベントをするというと11月とか、秋にもってこられて。色んな行事が重なっていく。そういうことを考えていけないといけない。ただすればいいというだけなら、止めた方がいいと思うこともあります。参加してほしい時期を十分選ぶべきだと思います。

会長

読書の秋ということもあり、秋だったと思います。どの年代もが気軽に参加できる時期というのが、大事だと思います。連合作品展とは、離れますのでもっと参加できるような時期を考えなければと思います。

教育長

中高生の参加となりますと、学校教育もある程度関わっていく問題だと思います。学校は、不器用なところで、急に言われても急にハンドルの切ることができない。事前にこういったイベントをするので、授業の中でも活かしてくださいとお願いしとかなないと、参加しようと思ってもできないと思います。その辺りも学校と協力できる学校連絡協議会を上手に使っていただきたいと思います。

会長

なるべく年度が始まって早い時期に会を開くといいですね。

教育長

例えば、ビブリオバトル。中高生に参加してもらおうとすれば当然授業の中でもそういった授業をしていかないといけないと思いますし、学校展示を見させていただくと、各学校では色んなことをされていますのでその辺りの情報収集をされて、これだったらできるというものを選んでいただければと思います。複合施設をどうすべきかと、高校生の聞き取りはありましたが、どうして中学生への聞き取りはないのと声を聞きました。高校生への聞き取りも、ホール中心に使うようなブラスバンドと演劇部で、図書委員が1人もいなかった。それがすごく残念でした。中学生の図書委員の声をこないだ聞きました。中高生の居場所を一生懸命に大切にしたいと思っているのに、生の声を聞かない手はないなと思いました。

- 委員 高校生の図書委員にも聞いてください。
- 委員 読書まつりの講演会の時に質問が出ました。境港市は、旧境町・中浜・内浜とありますが、図書館は旧境町にあります。上道です。北に寄っています。遠いところからここまで来ることがとても困難です。先ほど、高齢者の交通機関の話が出ましたが、それと同じことが若い人・子どもにも言えると思います。校区外に出るのも制限がありますし、近いところで貸し出しができる方法がないだろうかと思います。例えば、公民館に図書館の本を月に何冊か持っていく。そういったような活動ができないのかなと思います。
- 教育長 非常に重要なテーマだと思います。私、公民館とどういう連携ができるかな。公民館に図書館の本を持っていく。そこで読んでいただく。そのくらいの発想しか持っていませんでした。それだけではなくて、公民館に行って、図書館のこの本が読みたいと言ったら公民館に届く。そこで読んでいただく、あるいは家に持って帰っていただいて、公民館に返す。そういったことならできるのではないのでしょうか。鳥取市は、ローソンとそういう提携をしまして、ローソンに行ってこの本が読みたい。そうしたらローソンに届く。そういった取り組みを試験的に行われています。工夫していけば公民館の職員の協力を得ながら、タイアップができるかもしれません。
- 委員 地域でもそういう案がありました。インターネットを使って県立図書館から公民館に取り寄せて貸し出す。その様な案がありましたが、職員やシステムの問題でなくなってしまいました。公民館側・図書館側双方の理由でなくなってしまいました。移動図書館が公民館に来てくれることが一番いいなと思っています。しかし、予算的なこともありますので。移動図書館ですと、持ってきていただいて、そこで見て、持って帰っていただく。公民館の中には書架を置くようなスペースがありません。貸し出しはしていますが、蔵書は少ないです。年間、何冊か貸し出しをしています。
- 子ども達は学校図書館が充実しています。学校図書館に大人のスペースがあってもいいのかなと思います。学校に大人の本があってもいいのではと思います。
- 教育長 学校と図書館はつながっています。どういった連携ができるのか。移動図書館が一番お金がかかりますが、簡単かもしれません。
- 委員 個人的には、学校の図書館に地域の方が来ていただいてもいいと思っています。私はそう思っています。大人の方で絵本を読みたいなどという方もおられます。

- 教育長 学校に行けば市民図書館とつながっていますので市民図書館の図書の検索ができます。学校では、すぐにできます。
- 委員 学校で市民図書館の図書の検索ができることを、一般の方が知らない。読み聞かせのボランティアの方は利用していますが。
- 教育長 校長先生方に相談してみます。
- 委員 図書館には、大活字本がありますよね。せっかく図書館にあるのに、一般の方が活用できない気がします。私たちの年代になりますと、小さい文字が読めなくなります。高齢者の方が本を読みたくないというのは、文字が見えないからだと思います。いくらメガネをかけても見えないんです。見えなかったら読みたくない。せっかく大活字本がありますので、活用できればなと思います。
- 図書館長 PR が足りないのかなと思います。数はあります。
- 教育長 高齢者に対するサービス。今は、障がい者に対するサービス。音で聴くとか、点字、手で読むとか、色んなサービスができる機能が必用になると思います。鳥取県立図書館は、歩けば「ここは図書館です」とアナウンスが流れて、全部音で情報がその人に伝わるシステムがあります。できる範囲で考えたいと思います。
- 会長 これからの学校図書館は地域にも開かれるべきだと思います。そういう考えが全国的に広がってきています。2中が新しくできる時に、ワークショップとかに行って、図書館は1階にあって学校が閉まっても例えば19時までは図書館だけは開けるために、2階の奥の方ではなくて、1階のところだけシャッターを下ろして、図書館だけ地域に開かれるようにできるような設計がいいのではないですかと言いました。学校図書館でしたら、校長先生と相談しないといけません、できる可能性はありますか。
- 教育長 この本をと連絡いただければ、今の学校図書館との運びの関係でできると思います。
- 会長 新しい図書館ができてからではなくて、しようと思えば今年度からでもできますか。
- 教育長 手間になりますので、勤務時間内の昼間の時間であれば不可能ではないと思います。
- 委員 学校図書館が地域に開かれた場所となり、普通の市民も本を検索したり、借りたいと言えば、公民館ですとシステムの難しいかもしれませんが、学校はつながっていますから、県立図書館からでも翌日には来ますので、活用できるようになればいいと思います。そうしますと、地域で読みたい本が手に入る。

委員 別紙でいただきました資料ですが、平成 30 年 4 月から本館 1 階のみでの営業となりますので、もっとこういう図書館の利用ができますよと、市報等色んな形で常に情報発信する必要があると思います。長くて 5 年間図書館本館 1 階だけでいかなければいけないという状況の中で、市民がどう活用できるのか、県立図書館からでも翌日に本が届くので利用してくださいといった情報など、市民の方に図書館の情報を発信し続けることが必用だと思います。

会長 できることは、少しでも早く行動に移されるようによろしく願います。

委員 先ほど読書まつりとか、中高生の図書館利用の話がありましたが、私は子どものころ本が大好きで、学校の図書館もほぼ毎日行っていました。本を読みたくないなと思った日には公民館に行っていました。友達に移動図書館が来てくれればいいねと話していました。私が子どもの頃に読書まつりがあって、自分が行くかなと言えば、多分そそれられないです。青い目の人形物語とか 1 箱本屋さんとか行ってみたいなと思いますが。自分だったらどういうものだったら行きたいかなと考えた時に小学校 6 年生くらいでお話を作る授業が、今でも確かあると思いますが、参観日等で見たことがあります。面白いストーリーを書きますので、そういった子どもが作った本ですと置いてあれば、行ってみたい。自分と同じ年代の子が書いたのがあれば行ってみたい。中学生でも読書感想文という宿題はあっても、本を作ってみましょうという宿題はないと思いますので、自由研究的な感じで好きな本を書いていいですよとあれば、好きな子は必ずいると思いますので、書かれたものを新しい図書館に置かれてもいいのかなと思ったりします。

会長 多分、お話を作ろうは、プログラムに学校図書館の展示というところがありますが、学校ごとに図書館を使つての授業の実践報告がされています。その中で、色んな子ども達がお話しを作った作品が並んでいます。その辺を見に足を運んでいただいたら、こういったものを作っているんだなと分かると思います。

もっと、形を変えていかないといけないなというのと、読書まつりの企画をする人・参加者が固定化していますので、もっと色んな市民の団体グループにも参加していただいて読書まつりができたらと思っています。ご意見を頂けたらと思います。

委員 廃棄本が 500 冊ほど提供されて、今まで見たことのないような人ばかりだったと聞きました。30,000 冊の廃棄本とありますが、これを全て提供できるとは思いませんが、どういう風にされるのですか。

- 図書館長            まだ半分くらいしか廃棄できていません。廃棄本の無料提供の時には80名の方に615冊でした。1,000冊くらい用意していました。初めは1人10冊までとしていましたが、シリーズものとかありますと、1人が20冊良いですかと聞かれ、だしました。その時にも、こういうことがあることを知らなかった。初めてだ。知っていたら家族でも呼んで来たのと言われました。後から、要望が出たりと複数聞きましたので、教育委員会に相談しまして、市報に載せていただきますが第2回を行います。1月28日の日曜日。午後2時間ほどですが、市報が一番インパクトがあると思います。図書館便りや図書館まわりにチラシを貼っていても見る人が限られると思いますので市報に書いていただくように今進めているところです。
- 委員                 是非、回数を重ねるようにしていただきたい。図書館とのつながりを、市民とのつながりを作っていただきたいなと思います。
- 図書館長            児童書が出せなかった。親子連れで来られた方が、児童書ないんですかと。小さなお子さんが来られても、なかなか見るものがないとありました。高校生も来ました。部活帰りとか。テスト期間中だったか。中学生もいたように思います。何回か結果を見てできる範囲で行いたいと思います。
- 委員                 公民館報もありますので、ご利用いただければ。
- 生涯学習課長       基本的には、市報に載せたものは公民館報には載せないこととしていますので、公民館により対応が異なるかもしれません。
- 委員                 公民館報の方が皆さん見られるということもあります。市報は色々な情報が色んなところに書いてありますので、皆さんが気が付かないということがあります。
- 委員                 市報と公民館報で情報が重なっていることがよくあります。
- 委員                 文章で出ているのが一番ありがたいです。色々な会に出ますと、ホームページに出ていますとあります。今、高齢の方でパソコンができる方はほとんどおられません。
- 会長                 図書館協議会は、市民の代表で市民図書館について語りあう会ですので、皆さま方だけではなくて、皆さま方の周りにおられる方々にも今度新しくできる図書館についての意見を広く聞いていただいて、次回の会に活かしていただけたらなと思います。

(17:15 閉会)